

1月16日：ベトナム株は上昇

楽観的な見通しと外国人投資家の買いが広がったことでベトナム株は堅調な動きとなった。しかし、まちまちの動きであり、指数は狭いレンジでの動きとなった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.61%高の1,066.68ポイントで取引を終えた。

売りが優勢だった。175銘柄が上昇したのに対して215銘柄が下落した。

売買代金は9.4兆ドンで、前日比24%減少した。

VN30指数も0.55%高の1,075.71ポイントで取引を終えた。

採用銘柄では15銘柄が上昇、13銘柄が下落した。

外国人投資家が買い越し、相場を支えていた。ホーチミン市場では2,270億ドンの買い越しとなった。

銀行株が堅調だった。軍隊商業銀行(MBB)、テクコムバンク(TCB)、ベティンバンク(CTG)、VIB(VIB)、サイゴンハノイ銀行(SHB)、TPバンク(TPB)、ベトコムバンク(VCB)といった銘柄が上昇した。

注目すべきは、BIDV(BID)の7%高だった。

その他、ホアファットグループ(HPG)、ベトナム国営ゴム(GVR)、SSI証券(SSI)、サイゴンビール(SAB)、カンディエンハウス(KDH)、FPTコーポレーション(FPT)などが上昇した。

一方、ビンググループ(VIC)、ビンコムリテール(VRE)、マサングループ(MSN)、ビンホームズ(VHM)などが下落し、相場の重しとなった。

銀行、製造業、公益、不動産セクターが相場を押し上げていた。

ハノイ取引所のHNX指数は下落、0.18%安の210.88ポイントで取引を終えた。

出来高は3,680万株で売買代金は5,440億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。